

東アジア環境問題国際シンポジウム

環境問題の解決へ向けた研究協力・交流

東アジア環境研究機構プロジェクト推進室
室長補佐（学術研究員）
小久保裕

平成二十一年一月三日と四日の二日

間、九州大学西新プラザにおいて、本学東アジア環境研究機構（RIEAE）の主催により「第三回東アジア環境問題国際シンポジウム（EAE P 二〇〇九）」が開催されました。この国際シンポジウムは、東アジア諸国の環境研究者が一堂に会し、環境問題の包括的解決へ向けた研究協力・交流を目的として開催しているものです。三回目の開催となる今回は、RIEAEが本年四月に設置されて最初の国際シンポジウムでありましたが、一〇〇名を超える参加者がありました。

開会にあたり、落合英俊 RIEAE 副機構長（本学理事・副学長）、島岡隆行 RIEAE プロジェクト推進室長



開会の挨拶をする落合副学長



研究者による活発なディスカッション



水俣病資料館での見学会



中日資源循環・廃棄物対策会議での集合写真（都市環境グループ）



国際ワークショップ（砂漠化防止グループ）

（工学研究院・教授）及び中華人民共和

国駐福岡総領事館徐建威領事から挨拶がなされました。引き続き、同済大学譚洪衛教授、中国農業科学院宋敏教授及び鳥取大学恒川篤史教授から、それぞれ低炭素都市システム、フードリスク研究及び砂漠化防止研究に関する特別講演がありました。

研究発表では、RIEAEが取り組む九つの研究分野（都市環境、低炭素都市システム、フードリスク研究、水環境、砂漠化防止、大気環境、海洋環境、環境化学、環境計画・政策）から、海外からの投稿論文一三編を含む計三五編の研究発表が発表され、若手研究者を交えた活発なディスカッションが行われました。

さらに、一月五日には、日本の公

害問題の原点でもある水銀汚染を引き起こした水俣市（水俣市立水俣病資料館及び国立水俣病総合研究センター）において見学会を開催しました。参加者約四〇名のうちの半数が海外からの参加者であり、わが国の公害問題と環境技術への関心の高さが示されました。

RIEAEの研究分野ごとの活動として、都市環境グループは日本学術振興会の助成を受け、「日本と中国の廃棄物管理コミュニティ形成支援のための中日資源循環・廃棄物対策会議」を、国内の五大学、中国全域から一二大学・機関の研究者を招へいして開催し、砂漠化防止グループは、国際ワークショップを開催しました。EAE P 二〇〇

〇九に合わせて開催されたこれらの会

議やワークショップでは、より専門的なディスカッションや情報交換が行われました。

上海で開催されたEAE P 二〇〇八と同様、清華大学、上海交通大学、同済大学をはじめとする中国の大学・研究機関に加え、今回のEAE P 二〇〇九ではモンゴルやカザフスタンからの参加者もあり、より深くより幅広い研究協力・交流の場に成長していると実感できました。RIEAEでは、この国際シンポジウムが東アジア環境問題の解決の起点となるよう、今年も開催する予定です（EAE P 二〇一〇）。関係各位のご支援をお願い申し上げます。

東アジア環境研究機構WEBサイト

<http://www.q-eaep.kyushu-u.ac.jp/ja/index.html>